

「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」令和2年度総会 開催

公益社団法人日本観光振興協会が事務局をつとめる「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」は、令和2年8月7日（金）に書面にて令和2年度総会を開催いたしました。本年は新型コロナウイルス感染拡大防止と参加者の安全確保の観点から、書面での実施となりました。

総会では、令和元年度事業報告・収支決算、令和2年度事業計画・収支予算、規約の改定について議決頂き、原案どおり承認されました。

【各議案について】

- [第1号議案：令和元年度事業報告・収支決算](#)
- [第2号議案：令和2年度事業計画・収支予算](#)
- [第3号議案：令和2年度 会費](#)

令和2年度の事業は、(1) 調査事業、(2) 研修事業、(3) プロモーション事業、(4) 協議会自主事業を予定しています。なお本年度事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業が変更する可能性があります。

(1) 調査事業

酒蔵ツーリズムを取り組むにあたり、各酒蔵・自治体などが現在抱えている課題や問題等を明らかにする。また今後の協議会の活動方針の参考とするために、アンケート調査を実施。

(2) 研修事業

上記アンケート結果をもとに研修会を開催。酒蔵ツーリズムを活用した取り組み事例などを想定。

(3) プロモーション事業

オフィシャルサイト及びFacebook・Twitterで酒蔵関連の情報発信を行う。また新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、各旅行博への参加も予定。

(4) 協議会自主事業

会員相互交流、情報交流機会の提供など、酒蔵と各事業者との協力関係の促進を行う。各省庁への協力も実施。

また今回の議決にあたり、当協議会宛に多くのご意見頂きました。一部意見を共有させていただきます。

- 日本酒蔵ツーリズム推進協議会の認知度向上のため、オンラインツアーなどを実施してほしい。(一般企業)
- 大変な時期だからこそ、足下を見直す機会としたい。(関係団体)
- オンラインとオフラインが双方で補完し合う施策を検討中。取り組み事例等を教えてほしい。(酒蔵)
- 蔵開きなど、お酒が関係するイベント開催に不安がある。今後の開催可否の参考のため、全国規模で定期的な情報収集と情報提供をお願いしたい。(行政)

日本酒蔵ツーリズム推進協議会は、本年度も各都道府県等の地方自治体、観光協会、DMO、観光関連団体・企業等と酒蔵が一層連携することで、酒蔵ツーリズム事業の継続・発展を目指してまいります。引き続きのご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。